

10 家庭

科目名	家庭基礎	単位数	3 単位	学年	第 1 学年	科 コース	総合生活科
使用教科書	教育図書 「家庭基礎」 グローバル&サステイナビリティ			副教材		準拠ノート・家庭科ガイドブック	

学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ，家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	一家庭基礎を何故学ぶのかー I 家族・地域・社会との共生 1. 青年期の自立と家族 ・人の一生とライフステージ ・現代の家族 ・家庭生活の成り立ち ・家族と社会	※家庭基礎では，「生きる力」を学ぶことを理解する。 I の 1. では，①人の一生を生涯発達の視点でとらえる。②各ライフステージの特徴と課題を理解する。③生涯を通し，青年期をどのように生きるかを考える。④家族と社会のかかわり，現代の家族・家庭の特徴について理解する。⑤男女が協力して家庭をつくることの意義を理解する。⑥家庭生活を支える基本的な法律について理解する。⑦家族関係のよりよいあり方について考える。 2. では，3年次に履修予定の「子どもの発達と保育」の基礎学習であることを理解し，乳幼児の生活や親の役割について考察する。また，保育技術検定4級の合格を目指す。 3. では，共生社会の重要性・またその実現のために何ができるかを考え工夫することができる。 2年次履修予定の「生活と福祉」に向けていく。
	5	2. 子どもの発達と保育 ※保育技術検定（全員受検）	
	6	①造形表現技術（折り紙） ②家庭看護技術（乳児の世話） ③言語表現技術（物語りを読む） ④音楽・リズム表現技術（歌う）	
	7	3. 共生社会と福祉 ・共生社会の実現のために	
二 学 期	9	II 生活の自立 1. 衣生活と自立 ・衣生活を管理する ・衣服を着る ※被服製作技術検定4級（全員受検）	II の 1. では，衣生活を健康で快適に営むことができるように機能，材料，着装，管理などに関する知識と技術を習得する。 ※被服製作技術検定4級では，裁縫の基本となるミシン縫い，手縫い，ボタンつけ等の縫い方を実習し，合格を目指す。（検定終了後は，作品に装飾をほどこす） 2. では，人間の生活を守る器である住まいについて，機能・適切な住まい方などそのあり方を学習する。
	10		
	11	・衣服の成り立ち・衣服と消費者 ・衣服の手入れ・着なくなった衣服の処分	
	12	2. 住生活と自立 ・住まいを見つめる ・これからの住生活と住環境	
三 学 期	1	3. 消費生活と経済 ・経済的な自立を目指して ・将来の経済生活を見通す ・消費者の意思決定	3. では，①自分も含めた家族の生活費と家計との関係を認識する。②生涯を見通した経済計画の重要性を理解する。③自分の消費行動の社会への影響力を認識し，適切な意思決定ができる。 ④消費者問題について理解する。⑤消費者の権利や消費者支援制度について理解する。⑥適切な消費行動について考え，実践することができる。⑦自立した消費者として主体的に行動することができる。 4. では，さまざまな環境問題が生じていることに気づき，環境保全のために自らの生活意識や，ライフスタイルを見直すことが大切であることを理解し，環境負荷の少ない衣食住の生活の工夫をする。
	2	・消費者の発生と消費者の権利 ・消費者市民の実現に向けて	
	3	4. ライフスタイルと環境 ・持続可能な社会の実現を目指す ・消費者としてできること ※適宜，視聴覚教材を活用する。	

学習評価

1. 定期試験・小テスト・課題（ノート等）の提出状況・製作課題の完成度・授業態度などを総合的に評価する